

高美小学校内 TM だより

R8.6.11.NO.9

3年2組の算数の授業におじゃましました。

★クイズから始まる導入★

「一万をこえる数」、大きな数の大小の学習でした。「今日はクイズからはじめるよ」という城山先生の声で授業が始まりました。もちろん教室は大盛り上がりでした。「10と8ではどちらが大きいか」「15と17ではどちらが大きいか」といった問いに、子どもたちは手を挙げて反応していました。全員が参加することができる形でスタートすることで、学習への意欲が高まり、教室全体が活発な雰囲気になっていました。ただクイズをするのではなく、どのように比べたかをふりかえることで、既習内容とつなげておられました。

「もっとむずかしいのがしたい」という声も聞かれ、意欲的に学習に向かおうとする様子が見られました。

★問題との出会いとはてな★

その後、「38000と36000ではどちらが多いか」という内容の問題が提示され、大きな数の比べ方について考える学習へとつながっていきました。ふきだしの交流では「2年生とくらべて桁数が多い」「考え方は2年生のころの学習と同じ」といった内容が共有されました。子どもたちは今までの学びとのつながりを意識し、見通しをもつことができたようでした。「なんか今日できそう!」という発言も、あちこちから聞こえてきました。

★考えをつなぐ交流と整理★

自分の考えを書く場面では、「説明が上手だね」といった声かけもあり、前向きにやり取りをする姿が見られました。同時に、どの子がどのような考えを書いているかを見取っておられました。全体交流では、意図的に考えの近い子を指名し発表させることで、子どもたちの言葉をつなぎながらまとめておられました。「>」「<」について初めて学ぶと、全員で体を使って確認しておられました。全員の顔が上がり、楽しく学ぶ様子が見られました。

★学びをふりかえり、つなげる時間★

授業の終わりには、ふりかえりをする場面がありました。さらに「大きな数でも、これまでと同じように比べることができる」といった気づきが共有され、これまでの学習とのつながりが意識されていました。導入のクイズが最後までいかされ、学びをつなぐ役割を果たしていました。ふりかえりの場面では、レベル別の視点が示されており、一人一人が自分の学びをふりかえることができるよう工夫されていました。「今日初めて発表できた」と、自分の「できた」を表現する様子も見られました。

～まとめ～

クイズを通して既習内容を思い出しながら学習がスタートし、新しく学ぶ大きな数についても、これまでの考え方を活用して解決しようとする姿が見られました。「考え方は同じだ」という気づきが見通しにつながり、安心して学習に向かっているようでした。また、ふりかえりを通して学びを整理することで、自分ができたことや頑張ったことを見つめなおす様子も見られました。城山先生、3年2組のみなさん、ありがとうございました。

